| 授業科目名・形態 | 介護過程Ⅱ　　講義 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 柴田　博 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ２年前期 |
| 科目ナンバリング | W4-2039c | | | | |

**【授業の主題】**

事例を用いて介護過程を学ぶ目的は、アセスメントから評価までの一連の思考過程を追体験することにある。同じ課題を抱えた利用者でも専門職のかかわり方で、全く違う効果が得られることを学習する。尊厳の確立や自立へ向けた援助を基本に，本人やその家族のニーズに照らした介護過程の展開ができる力量を身につける。また，授業で学んだことを介護実習の中の介護過程にも結びつけていく。

**【到達目標】**

1）介護過程の理論と利用者のニーズを関連づけながら、展開する能力の基礎を身につける。
2）情報収集、その分析・解釈、計画の立案、実施・評価等の基本的を身につける。
3）ケアマネジメントと介護過程の関係性を理解する。

**【授業計画・内容】**

第　1　回　介護過程の全体像
第　2　回　生活支援における介護過程の意義
第　3　回　介護過程とケアマネジメントの関係性
第　4　回　チームアプローチの実際
第　5　回　介護過程の理解・・・アセスメントの思考方法を提示
第　6　回　介護過程の展開・・・アセスメント
第　7　回　チームアプローチの実際
第　8　回　介護過程の展開・・・介護の実施
第　9　回　アセスメント（情報収集）・・・情報取集の意義
第 10　回　アセスメント・・・情報収集の方法
第 11　回　アセスメントの視点・実際
第 12　回　グループでのケアプラン作り
第 13　回　各グループの発表、質疑応答（1）
第 14　回　各グループの発表、質疑応答（2）
第 15　回　各グループの発表、質疑応答（3）

**【授業実施方法】**

講義・演習

**【事前・事後学習】**

講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。

**【主な関連する科目】**

「介護総合演習」

**【教 科 書 等】**

介護福祉士養成講座編集委員会編『第９巻　介護過程』中央法規出版

**【参 考 文 献】**

必要時に資料を配布

**【成績評価方法】**

レポート内容 100%

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

障害者支援施設では支援計画の作成実施、介護保険制度実施に当たっては、介護支援専門員養成の指導者を務める。

**【学生へのメッセージ】**

事例から、どのような支援が求められるのかを思考して欲しい。